

製品安全データシート

製造者情報

1. 製品及び会社情報

会 社 富士精密電機株式会社
住 所 153-0063
東京都目黒区目黒2-15-14
担当部門 技術部 担当者 村井利広
電話番号 03-3716-3441
FAX番号 03-3716-3820
作 成 2010年09月09日
改 訂 2018年03月27日

整理番号 KC001

製品名 3.3M塩化カリウム内部液 (KCl)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性

引火性液体：区分外
自然発火性液体：区分外
自己発熱性化学品：区分外
水反応可燃性化学品：区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）：区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：区分外
特定標的臓器/全身毒性（反復暴露）：区分外

環境に対する有害性

水生毒性（急性）：区分外
水生毒性（慢性）：区分外

3. 組成及び成分情報

物質の特定

単一製品・混合物の区別：混合物（水溶液）
化学名：塩化カリウム (KCl)
成分及び含有量：塩化カリウム 約24.6%
水 約75.4%
家審法番号：既存化学物質番号 1-228
CAS No.：7447-40-7
国連分類・国連番号：分類に該当しない。

4. 応急措置

吸入した場合：直ちに新鮮な空気の場所に移し、鼻をかませ、うがいをさせる。

皮膚に付着した場合：直ちに付着部を多量の水で十分に洗い流す。

目に入った場合：直ちに流水で十分に洗い流す。

飲み込んだ場合：直ちに水を飲ませる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤：この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤：特になし

特定の消火方法：速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器および周囲に散水して冷却する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：作業の際は、必要に応じて適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項：特になし

回収、中和：漏洩した液は布、紙などで拭き取った後、漏洩した場所は水で十分に洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：できるだけ皮膚などに付けないようにする。

保管

適切な保管条件：容器は密栓して冷暗所に保管する。

安全な容器包装材料：ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策：蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。

管理濃度：設定されていない

許容濃度

日本産業衛生学会（2009年度版）：設定されていない

ACGIH（2009年度版）：設定されていない

保護具

呼吸器用の保護具：特に必要ない。

手の保護具：必要に応じて保護手袋を着用する。

眼の保護具：必要に応じて保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

形状：液体

色：無色

臭い：無臭

pH：中性

沸点：約104° C

融点：約-15° C

引火点：不燃性である

密度：1.17g/ml

溶解性

溶媒に対する溶解性：水 ; 自由に混合

10. 安定性及び反応性

通常条件で安定である。

避けるべき条件：日光、熱

11. 有害性情報

急性毒性： 経口：区分外
経皮：データ不足のため分類できない。
吸入（蒸気）：データ不足のため分類できない。
吸入（粉塵・ミスト）：データ不足のため分類できない。
ラット 経口 LD50=11800mg/kg(計算値)
皮膚腐食性・刺激性：データ不足のため分類できない
眼に対する重篤な損傷・刺激性：区分外

塩化カリウムは、ウサギの眼に対して区分2Bに相当する刺激性はあるが、本品は約24.6%水溶液であり、区分外とした。

呼吸器感作性又は皮膚感作性：呼吸器感作性：データ不足のため分類できない

皮膚感作性：データ不足のため分類できない
生殖細胞変異原性：データ不足のため分類できない
発がん性：データ不足のため分類できない
生殖毒性：データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－単回暴露：データ不足のため分類できない
特定標的臓器・全身毒性－反復暴露：区分外
ラット雄の2年間経口投与試験で、唯一の影響は、刺激性としての胃炎のみでNOAELは1820mg/kg/day。また、ラット雌の5250mg/kg/dayを105日間経口投与した試験での影響は全て回復性であり、重大な毒性影響はない。
吸引性呼吸器有害性：データ不足のため分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：水生毒性（急性）：区分外

水生毒性（慢性）：区分外

甲殻類（オオミジンコ） LC50=2600mg/l/48H（計算値）

残留性／分解性：データなし

土壤中の移動性：データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：多量の水で希釈し、pHを確認した後、下水に流す。または、都道府県知事の許可を得た廃棄物処理業者に委託処理をする。

容器：空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後に処分する。

14. 輸送上の注意

国内規制

適用法令なし

国連分類：分類基準に該当しない

15. 適用法令

化学物質管理促進法：非該当

毒物及び劇物取締法：非該当

労働安全衛生法：非該当

海洋汚染防止法：施行令別表第1有害液体物質（Z類）

16. その他の情報

引用文献

関東化学株式会社 製品安全データシート

*この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意して下さい。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施して下さい。また、含有量、物理／化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。